

令和5年5月2日

第29回福岡ひびき経営者賞受賞者決定!!

～6名の受賞が決定しました～

この表彰制度は、福岡ひびき信用金庫が平成6年1月に創立70周年を迎え(当時の北九州八幡信用金庫)、これを記念して下記の表彰対象部門で優れた成果を挙げた北九州市及びその周辺所在の優良中小企業の経営者を顕彰するもので、地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的としています。今回、各支店から推薦された企業37社のうち予備選考及び令和5年3月27日(月)に開催した選考委員会における選考の結果、下記6名の受賞者を決定しましたのでお知らせします。今回で受賞者は通算146名となりました。なお、授賞式は令和5年5月15日(月)に千草ホテルで行われます。

【表彰対象部門】

● 技術革新・商品開発部門 ● 販売・サービス部門 ● 人事・労務管理部門 ● 地域社会
貢献部門 ● ソーシャルビジネス部門(今回、販売・サービス部門に受賞者はいませんでした。)

第29回「福岡ひびき経営者賞」受賞者と受賞理由

〔技術革新・商品開発部門〕受賞者2名

●株式会社 鶴元製作所 代表取締役社長 鶴元 清一郎 氏(到津支店推薦)

・業 種：金属製品等製造業・製缶板金加工

・受賞理由：本業の技術を高めながら新分野へもチャレンジする企業姿勢は、まさに「北九州のものづくり企業」の特徴とも言えます。当社の取組は大いに他社の参考になるものと評価され受賞に至りました。当社の特長は、設計から制作・設置まで自社で一貫して対応するものづくり企業であること。加えて受注品の制作に留まらず、新製品の自社開発にも取り組んでいる点です。今回特許製品である3軸ジョイント構造は、鋼材で制作する搬送用パレットが持つ多くの課題を解決する製品です。ボルトを使い組立が簡易で既存品のように溶接不要。プレス加工で制作時間が大幅に短縮、製造コスト削減に成功。また、治具を変更することでフレームの再利用が可能となり環境にも優しい製品を開発しました。

●藤井精工 株式会社 代表取締役 藤井 福吉 氏(鞍手町支店推薦)

・業 種：金型製造・医療用器具製造業

・受賞理由：当社の高い技術力はもちろん、異分野への進出に成功したマーケティング力は地域企業の模範になると評価され受賞に至りました。当社は、半導体部品や機械部品の金型メーカーとしてその技術は高く評価されてきましたが、経済産業省のグローバルニッチトップ100社等に選定され、当社製品が米国FDAのサプライヤー監査承認を受けるなど

国内外でその技術力が高く評価されています。今回の推薦理由及び表彰理由は、米国の医療用具メーカーに緑内障治療用器具のコア部品として当社の製品が採用され、高い評価を受けている点です。当社の製品が米国のメーカーに採用されたのは当社が商談会で展示した精密な加工品を同メーカーが見て当社へ部品の試作を依頼、当社が製作に成功したことがきっかけです。海外メーカーの高い水準の要求にも応えたことで医療機器分野への進出を果たしました。

〔人事・労務管理部門〕受賞者1名

●株式会社 日研稲吉 代表取締役 稲吉 研一 氏（木屋瀬支店推薦）

・業 種：精密金型部品製造業
・受賞理由：当社は、中小企業の経営者が模範となる人材育成の内容を備えた企業であることが評価され受賞に至りました。当社は、代表者のリーダーシップのもと、従業員が納得のいく形で働ける職場環境を丹念に作り上げ、主体的に各従業員が多くの職場を専門的にこなせる「多能工」を育て上げています。全ての機械の操作方法や作業工程は代表者自らがマスターし従業員を指導する体制を整え、従業員は入社後の3～5年間で最低3種類の機械操作ができるように目標設定、どの機械を修得するかは彼ら自身が自分の特性や仕事に対する考えにもとづき上司や社長と相談の上決定しています。積極的に機械操作をマスターした従業員を昇給などで評価。これがモチベーションとなって、従業員も自発的に機械操作のマスターに取り組んでいます。このように、代表者のリーダーシップと人材育成の特性が当社の業績に寄与する好循環を生んでいる点が他企業のお手本となると評価されました。

〔地域社会貢献部門〕受賞者2名

●有限会社 田中総本店 代表取締役社長 田中 大士 氏（黒崎支店推薦）

・業 種：人形等小売業
・受賞理由：田中総本店の代表である田中大士氏は、「人形店」の3代目ですが、本業とは別に黒崎のまちづくり・活性化に大きく社会貢献していることが評価され受賞に至りました。当社の代表である田中氏は、長年にわたり黒崎商店街の活性化に取り組んでいます。開催11回を数える「黒崎こども商店街」は、黒崎商店街の名物イベントに成長し、田中氏は実行委員長として主体的に運営に携わっています。シャッター商店街を逆手に取り、地元大学、地元ゆかりのあるアーティストと連携し、シャッターに絵画を描く「黒崎アートプロジェクト」も運営、また空き店舗対策として不動産業者と連携した「空き店舗ツアー」を開催し、ツアーに参加した若手起業家の出店誘致にも成功。これらのイベントは若い商店街の次の担い手の育成の場所ともなっており、商店街の未来を創る田中氏の活動は地域活性化活動のお手本になると評価されました。

●有限会社 さくら館 代表取締役 藤原 洋子 氏（本城支店推薦）

・業 種：介護事業
・受賞理由：代表者のボランティア活動が、本業である「介護事業」とは別に地域高齢者による地域特産品の生産・販売を企てその収益を他の災害地などに寄付することによって社会貢献していることが評価され受賞に至りました。受賞者である藤原洋子氏が代表を務める地域プラットフォーム「GooseLoc 'R」は、高齢者が作った地域特産品をバザーなどで販売し収益を災害地へ寄付しています。藤原氏が経営する介護施設で、通所者の生きがい作りとしてスタートした活動が地域や企業を巻き込み、今では大きな輪に広がりました。地元で高齢者と地域住民が栽培したサツマイモで芋焼酎を作る、地元の梅林から採取

した梅の実で梅焼酎を作るなど、「GooseLc' R」ブランドは地域特産品として認知されています。地域での活動に拘り、高齢者の生きがい作りに取り組む姿勢はブレることなく、その実行力は地域企業の社会貢献のお手本になると評価されました。

〔ソーシャルビジネス部門〕受賞者1名

●株式会社 久兵衛 代表取締役 林 和久 氏（三萩野支店推薦）

・業 種：飲食業

・受賞理由：久兵衛の代表者である林和久氏は、本業である「うどん店」の経営を成功させるだけでなく、本店の立地する黄金市場中心の地域社会活性化を図る活動を行っていることが評価され「ソーシャルビジネス」部門として受賞に至りました。

本業であるうどん店は、日中多くの人を訪れる有名店です。代表者である林氏は、うどん店が成功するとともに立地する黄金町商店街全体が繁栄することを願い、二つのことを実践しています。一つは本業が成功すると他の地域に支店を出すことはせずに、黄金商店街内部にその商店街に欠けている店舗をつくることで街の繁栄を図ることです。現在、久兵衛のほかに八兵衛（天ぷら店）、七兵衛（定食屋）の店舗を地域の人を雇用し営業中。二つ目は地産地消です。自分の店舗で賄う食品の材料は必ず黄金市場で仕入れ賄うという信念は崩していません。また空き店舗を減らしたい若い人が手軽にチャレンジできる仕組み作りにも取り組んでおり、勉強会の開催や出店のサポートもしています。

【授賞式について】

<日 時>

令和 5年5月15日（月）

受 付：午前10：30より

授賞式：午前11：00より

<会 場>

千草ホテル

北九州市八幡東区西本町1-1-1

TEL：093-671-1131

<式次第>

開会

主催者挨拶

選考委員長挨拶

受賞者発表

受賞理由説明

賞状授与

閉会

【このニュースのお問い合わせ先】

福岡ひびき信用金庫

地域創生室（櫛山・城）

Email：chiiki@fukuokahibiki.co.jp

TEL：093-661-2417

FAX：093-671-2717